

保護者のみなさま

小野市立小野南中学校長 岡田和幸

令和4年度学校評価結果について

早春の候、日増しに暖かくなってまいりました。平素は本校教育にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、本年度も本校の教育活動について評価をしていただきました。結果をご報告するとともに、次年度の実践に生かしたいと考えております。今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

アンケート結果表について

- 26の質問項目を「学校生活」「確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」「家庭学習の充実」「教育環境の整備」という6つの観点にまとめ報告します。
- 評価結果の見方
A：思う B：少し思う
- 平成30年度、令和2年度、令和4年度の比較はA・Bの合計ポイントによる比較です。

【学校生活】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
1	生徒	楽しく学校生活を送っている。	96%	96%	91%
	保護者	楽しく学校生活を送っている。	90%	96%	95%
2	生徒	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	99%	97%	98%
	保護者	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	97%	96%	97%
3	生徒	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	87%	89%	82%
	保護者	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	84%	88%	89%
4	生徒	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	96%	99%	97%
	保護者	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	96%	96%	96%
5	生徒	交通ルールを守って登下校している。	98%	100%	99%
	保護者	交通ルールを守って登下校している。	99%	97%	97%
6	生徒	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	93%	95%	94%
	保護者	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	90%	89%	90%

多くの生徒が、学校生活を楽しいと感じており、学校行事にも意欲的に取り組んでいます。特に行事では各クラスや縦割り活動で、クラスの団結力や絆がより強くなりました。地域の人へのあいさつもしっかり出来ており、交通ルールを順守し登下校出来ていることがわかります。

これからも、学校だよりやホームページ等で、学校からの情報発信を丁寧に行っていきたいと思っています。

【確かな学力】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
7	生徒	授業は分かりやすい。	95%	93%	91%
	保護者	分かりやすい授業がなされている。	90%	88%	92%
8	生徒	自分は授業に集中して取り組んでいる。	93%	93%	98%
	保護者	お子さんは、授業に集中して取り組んでいる。	88%	88%	92%
9	生徒	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、授業は楽しい。	94%	90%	90%
	保護者	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、楽しい授業がなされている。	91%	88%	94%
10	生徒	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	73%	82%	82%
	保護者	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	73%	77%	82%

アンケートの結果より、多くの生徒が授業に集中し、授業はわかりやすいと答えています。おの検定においては、取り組みに対する意識が低いと考えている生徒が年々増加しています。朝の南中タイムや家庭学習での検定に対する取り組みへの改善策を考え、基礎学力を定着させる工夫を行っていきます。



【豊かな心】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
11	生徒	道徳の授業では、自分の思いや考えを発言している。	76%	83%	85%
	保護者	自分の思いや考えが発言できている道徳授業がなされている。	91%	90%	91%
12	生徒	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	97%	98%	96%
	保護者	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	98%	95%	100%
3	生徒	相手を大切にする思いやりの心が育ってきたと思う。	99%	97%	93%
	保護者	相手を大切にする思いやりの心が育っている。	99%	95%	97%
14	生徒	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	99%	98%	96%
	保護者	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	97%	95%	94%



人権旬間や人権フィナーレの取り組みを通して、人権について考える大きなきっかけになっていることがわかりました。今年度はすべての学年の代表者が人権フィナーレで発表したこともあり、意識が高まったと思われます。道徳の授業では、「自分の思いや考えを発言している」と答えている生徒の数値が下降傾向にあります。道徳授業でも自分の意見が発言しやすい雰囲気づくりを実践していきます。「相手を思いやる心や」「相手の立場や気持ちを考える」項目では高い数値を示しています。今後も引き続き、豊かな心を育み、生徒たちが安心して通える学校づくりを進めていきます。

【たくましい身体】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
15	生徒	部活動に熱心に取り組んでいる。	97%	96%	95%
	保護者	部活動に熱心に取り組んでいる。	92%	96%	96%
16	生徒	部活動の活動内容や活動時間は適当である。	91%	89%	84%
	保護者	お子さんの部活動の活動内容や活動時間は適当である。	91%	89%	87%
17	生徒	朝ごはんを毎日食べている。	94%	95%	94%
	保護者	朝ごはんを毎日食べている。	96%	95%	93%

生徒たちは部活動に毎日熱心に取り組み、成果をあげています。限られた練習時間の中で、主体的に練習に取り組んでいる生徒がたくさんいます。部活動は中学校生活の中で大きな意味を持つので、今後も充実した活動となるように学校全体で取り組んでいきます。

【家庭学習の充実】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
18	生徒	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	77%	91%	89%
	保護者	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	73%	79%	79%
19	生徒	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	80%	87%	80%
	保護者	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	78%	73%	73%
20	生徒	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	69%	76%	76%
	保護者	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	59%	68%	70%
21	生徒	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	67%	76%	79%
	保護者	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	53%	60%	65%
22	生徒	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	51%	54%	55%
	保護者	学習の手引きや家庭学習プロジェクト冊子を活用して学習に取り組んでいる。	58%	65%	65%



項目18～22についてはいずれも低い数値を示しています。SNS やインターネットを使用する時間が増え、毎日の学習時間が確保できず、自主的な学習をする生徒が減っています。生徒一人一人に確かな学力をつけるため、引き続き家庭と連携して家庭学習の習慣化や規則正しい生活への取組を一層進める必要があります。SNS やインターネットの使用は1時間以内が適切だと考えられています。今後も保護者の方と連携を深めていくと共に、生徒の自己管理能力を育成していく必要があります。ご家庭でも時間やルールについて再度話し合ってください。

【教育環境の整備】

	評価者	評価内容	R4	R2	H30
			A・B	A・B	A・B
23	生徒	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	96%	98%	98%
	保護者	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	98%	93%	92%
24	生徒	先生は相談によく乗ってくれる。	91%	91%	90%
	保護者	先生は生徒の相談によく乗ってくれる。	85%	93%	88%
25	生徒	夢や希望・目標をもって、それに向かって努力している。	84%	90%	91%
	保護者	家庭で夢・希望・目標に向かって頑張ることの大切さについて話し合っている。	82%	88%	91%
26	生徒	小学生(6年生)とのふれあい行事は、大切だと思いますか。	92%	93%	88%
	保護者	小野南校区の小中一貫教育は、9か年のカリキュラムを見通した教育となっている。	84%	77%	82%

縦割り清掃では、9年生が中心となり黙々と清掃活動に取り組んでいます。また、多くの生徒が教師との信頼関係を持って学校生活を過ごしている状況がわかります。このような状況を継続していくために、今後とも担任との教育相談の時間を確保し、学校全体として相談しやすい環境づくりを目指します。生徒の問題や悩み、トラブルなどを見逃さず相談にのり、生徒・保護者との信頼関係が築けるように努力していきます。

一方、「夢や希望・目標を持ってそれに向かって努力している」と答えている生徒が少しずつ減っています。総合学習「夢叶」の授業内容を一層充実させ、生徒たちが自己の成長を実感できるように取り組んでいきたいと考えています。

全体として、学年が上がるにつれて学校生活への満足感が高いことがわかりました。生徒たちの自主性や自立性が育ってきていると思われまます。

子どもの心身の成長過程では、意欲関心を高めることが重要です。子どもの意思を尊重せず、いわゆる「頭ごなし」に押し付けるスタイルは長続きせず、子どものやる気を阻害してしまう弊害があります。

本校では、生徒の「自主性」や「主体性」を大切にし、生徒の「自発的学習」を促進するよう授業を展開しています。そのために、クラス全員が参加できるように課題を設定したり、少人数によるグループ学習で共に考え、意見を出し合う場面も設定しています。さらに、タブレットやプロジェクター等を活用し、生徒の視聴覚から興味関心を引き出すICT教育にも取り組んでいます。本校の全教員が『「教えて考えさせる授業」によるわかる授業』を日々実践しており、これからも、生徒目線で、生徒の反応をキャッチしながら、工夫したわかる授業実践に努めます。また、学習時での根気や粘り強さだけに頼らない「脳科学理論」に基づく教育を推進し、前頭前野を活性化させるモジュール学習にも取り組んでいます。

今後は、生徒が意欲的・自発的に家庭学習に取り組むよう、課題内容や各教科のバランスに工夫を凝らし、そして、家庭と学校との連携を一層密にし、共に子どもを育む環境づくりを推進していきます。

小野市立小野南中学校長 岡田 和幸

